

# 令和3年度中学校用教科用図書採択理由

伊賀採択地区協議会

教科(種別)	発行者の番号・略称	主な採択理由
国語	15 三省堂	<p>日常生活や社会生活の中から自分で課題を発見し、互いに意見を出し合いながら解決策を考え、課題解決に向けて取り組む「主体的・対話的で深い学び」に対応した教材が各学年で取り上げられており、内容も充実している。</p> <p>また、教材末の「学びの道しるべ」が見開きになっており、目標から振り返りまで学習の流れが分かりやすく提示されていて、生徒にとっても教師にとっても、見通しをもって取り組める。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
書写	38 光村	<p>硬筆の楷書を丁寧に復習でき、さらに中学校で出会う行書にさほど抵抗なく入れるように硬筆の教材が多数設定されている。毛筆は、半紙を想定した等倍の手本があるので、練習のイメージがわかりやすく空間を意識した作品を書きやすい。</p> <p>また、今までのワイド版からA4版にサイズが変更されたので取り扱いやすくなり、練習帳が取り外しできる機能は実態に即している。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
社会 (地理的分野)	46 帝国	<p>生徒が興味関心をもって取り組めるように、さまざまな資料や写真が配置されている。写真は色鮮やかで、資料は2015年以降のものがほとんどであるなど、最新のデータが使用されている。三重県との関連については、地図に上野盆地の表記があり、また、京阪神大都市圏と琵琶湖・淀川水系の範囲図など、関西との関係を表記している。</p> <p>また、説明しようのコーナーを設けたり、QRコードが54あり、読み取るとデジタルコンテンツに直接つながるなど、主体的・対話的な学びにつながる工夫がされている。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
社会 (歴史的分野)	116 日文	<p>学習内容については、部落問題や人権学習に対する記述に関して、他社と比べると充実した内容であり、生徒に対しても分かりやすく説明されている。そして、地域性にも合った教科書と考えられる。</p> <p>また、各ページに年表が記されており、どの時代の出来事であるかを一目で確認できる工夫が見られる。各章に設置されたチャレンジ歴史で、歴史について自分で考え、対話ができる学習活動が取り入れられている。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
社会 (公民的分野)	116 日文	<p>日本の平和主義の記述や基本的人権の単元の内容が他者に比べると充実している。人権問題に対する記述や内容においても、今後の人権課題を挙げており、地域の取組に関連性をもたせることができる。</p> <p>また、学習する流れに一貫性があり、生徒も指導する側も一連の流れとして学習できる配置となっている。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
地図	46 帝国	<p>大判化に伴い、地図が大きくなったため、地図の範囲が広がり、より詳しく、広い地方との関連がよくわかる。地図に掲載されている地名が詳しく細かい。地図の配色が見やすい。日本各地のすべての地名にふりがな(ルビ)がふってあり、地名を正しく読める。</p> <p>また、地域ごとの地図のあとに詳細な資料が入っていて、分かりやすい。鳥瞰図の内容も詳しい。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
数学	104 数研	<p>数学の基本的な内容を学びながら、数学を活用する力をつける本冊と、学んだ力を活用して探究的・総合的な課題に取り組める別冊で構成されていて、学級や生徒の状況に合わせてながら学びを進めることができる。分冊になっていることで、必要のないときは持ち運びを軽くすることができる。</p> <p>また、生徒のつまずきに対して適切な配慮がされており、家庭学習で使うことができる問題が豊富に用意されている。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
理科	61 啓林館	<p>実験・観察の中から探究しやすい題材を選び、各学年の各単元で探究の過程を通じた学習活動が行えるようになっている。単元の最後には、探究の力を活用する場面が設定されており、身近な疑問を深い学びに結びつけることができる内容となっている。</p> <p>また、紙面が大きくなったことにより、写真や図がより見やすくなるとともに、本文のレイアウトを工夫し、可読性・視認性が高いものになっている。学習内容ごとに課題(？マーク)が強調されており、授業ごとの目標が設定しやすくなっている。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>

教科(種別)	発行者の番号・略称	主 な 採 択 理 由
音楽 (一般)	27 教芸	<p>創作については、歌唱や鑑賞を教材から発展的に学習できる内容に工夫されている。教材については、難易度も中学生の実態に合っている。「深めよう音楽」など、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、考えられている。</p> <p>また、巻頭などに、各界のプロフェッショナルの方が「自分と芸術の関わり」について語っているページがあり、音楽的な見方、考え方など、学びの本質に迫るものである。巻末には、音楽を形づくっている要素が資料として図や楽譜とともにまとめられている。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
音楽 (器楽合奏)	27 教芸	<p>平易なものからやや高度なものまでバランスよく取り上げ、各学校の実態に応じて選択できるように配慮されている。発展的な学習として、さまざまな楽器やアンサンブルなど、多様な演奏形態で楽しむことができ、親しみをもって取り組みやすい内容になっている。</p> <p>また、アルトリコーダーだけでなく、ソプラノリコーダーの楽譜も示されており、各学校の実態に応じて、柔軟に対応できるようになっている。打楽器の扱う種類が豊富である。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
美術	38 光村	<p>1つの題材で、「鑑賞」と「表現」が対になって掲載されており、作品の鑑賞→発想・構想→表現と学習展開がしやすい上に、主体的・対話的で深い学びにつなげやすい構成になっている。教師にとっても指導しやすい。生徒作品を多く掲載し、発想・構想のヒントや手立てとなるよう工夫している教科書もあったが、この教科書は制作手順や思考方法が丁寧に紹介されており、美術が得意でない生徒にとっても思考しやすく、制作に取り組みやすい工夫されている。</p> <p>また、QRコードにより制作過程や解説を動画で見たり、立体作品などをさまざまな角度でみたりすることができ、制作や思考、鑑賞の助けになる。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
保健体育	224 学研	<p>主体的・対話的で深い学びを実現するために、紙面の構成自体が「課題をつかむ」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」となり、課題解決学習に取り組みやすくなっている。章末評価・学年末評価を充実させ、指導と評価の一体化を重視している。</p> <p>また、性の多様性については、「LGBT」や「SOGI」という語句を取り上げ、「男女」ではなく「相手」という表現を使うなど、語句の取り扱いや表現に最大限の配慮がされている。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
技術・家庭 (技術分野)	9 開隆堂	<p>各内容は、本文、図、イラスト、写真など、いずれも正確で、極めて分かりやすく丁寧に記述されている。各小項目の冒頭に設けられた「導入課題」を通して、生徒が授業へ積極的に取り組めるよう配慮するなど、主体的な学びにつながっていくよう工夫している。</p> <p>また、写真や図版が分かりやすく、必要な箇所では、生徒があたかも自分が作業しているように見えるアングルで撮影した写真や図版を使用するなど、理解を促すための工夫がよくなされている。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
技術・家庭 (家庭分野)	9 開隆堂	<p>各学習項目において身につけたい「学習の目標」を示し、「ふり返り」では自分の言葉で学び得たことを確かめられるように工夫されている。「やってみよう」「考えてみよう」などでは、生徒の学習意欲を高めるように働きかけ、さらに、「生活に生かそう」で知識・技能を適用する力を養い、「生活の課題と実践」につなげられるよう配慮されている。</p> <p>また、随所に「小学校の学び」が提示され、小中の学習内容の連携がスムーズに行われるよう、さらに、他教科との関連が分かるように工夫されている。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
英語	2 東書	<p>4技能の学習活動がバランスよくできるよう配慮され、内容においても生徒の興味・関心をひくとともに、発達段階に応じて、外国や日本の文化、環境、人権、福祉などについて考える題材が適切に扱われている。</p> <p>また、教科書の大きさが大きくなり、本書の中に記述式の練習問題やパターンプラクティスがたくさんあり、教師が自主教材としての補助プリントなどを作らなくてもいいように配慮されている。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>
道徳	17 教出	<p>「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」についてはユニットを組み、さまざまな側面から考え深めていけるように、各学年に複数の教材が系統的に配置され、重点項目となっている。</p> <p>また、教材の冒頭にある「主題にかかわる投げかけ」は、生徒が本文を読む助けとなり、スムーズな授業の導入につながる。さらに、教材の最後に書かれている発問「学びの道しるべ」は、3つの発問構成になっており、「道徳的課題」「価値理解」「自分のとのかかわり」の3点について、自分にひきつけて考えやすくなっている。</p> <p>これらのことから、教科用図書として「最も適している」と判断する。</p>